

三木城下町まちづくり協議会

旧市街地を中心とした三木城下町(対象20自治会)の伝統的まち並み・文化・地場産業等の特性を生かした、安全・安心で住み良く活力のあるまちづくりを推進することを目的に、平成14年11月に周辺の自治会皆さんの提唱により設立し、今年で18年目を迎えます。

地域の皆さんの意向を反映しながら景観保全を進める他、三木にしかない魅力や歴史文化をより多くの人々に伝えたい、暮らす人々、訪ねる人々の記憶に残るすてきな“まちづくり”ができるよう、楽しみながら活動しています。

“レトロチ”

ナメラ商店街は昭和40年代までは隆盛を誇っていましたが、モータリゼーションの進展や店主の高齢化により次第に衰退していきました。

城下町まちづくり協議会では昭和のレトロな雰囲気が随処に残るこの地域の魅力を発信するため、ステージイベントや屋台村、東西屋ちんどんや、バナナの叩き売り、旧車パレード等のイベントを“レトロチ”として開催しています。



【活動内容】

○『歴史・文化部会』

歴史勉強会や歴史的な景観を巡るまち歩き探検、歴史看板の充実及び店頭大型暖簾の推進活動等

○『自然・都市環境部会』

旧市街地周辺での緑化・植栽及び、三木山森林公園での養蜂活動、七夕笹飾り等

○『イベント交流部会』

歴史文化遺産での音楽ライブや昭和がテーマの「レトロチ」、三木の名所をリレーする「三木ナメラン」等の開催



“暖簾の推進活動”

○『景観形成等住民協定推進事業』

平成27年5月に地元住民の協力を得て、「三木市歴史街道芝町・平山地区景観形成等住民協定」を歴史的な街道の景観を守る住民協定としては、兵庫県で初めて認定されました。



“ナメラン”



“歴史勉強会”



“花の植え替え”



“養蜂活動”

